

令和3年 萩市議会 9月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	7	村 谷 幸 治	9月13日午前
2	8	五十嵐 仁 美	
3	3	浅 井 朗 太	午後
4	12	美 原 喜 大	
5	13	関 伸 久	
6	14	西 中 忍	9月14日午前
7	5	瀧 口 治 昭	
8	10	佐々木 公 恵	午後
9	11	松 浦 俊 生	
10	1	岡 崎 隆 志	
11	2	森 田 宗 和	9月15日午前
12	18	宮 内 欣 二	
13	6	松 浦 誠	午後
14	4	小 林 富	

質問順位	1	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 小中学校のICT教育の現状と小学校高学年における教科担任制導入について	1. 小中学校のICT教育の現状について 2. 小学校高学年における教科担任制導入について		
2. JR敷地内における維持管理について	1. JRに対して、草刈りなどの維持管理を市から定期的に強く要望していただける仕組みが作れないか。		

質問順位	2	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 新型コロナ感染症対策	<p>1. 原則自宅療養で、入院や宿泊施設に入れない人はいるのか。</p> <p>2. 在宅医療の体制はできているのか。自宅で容態急変を招くような事態を想定しているか。</p> <p>3. 妊婦や乳幼児に対応できる病床は確保されているのか。</p> <p>4. 回復者や軽症者・無症状者を受け入れる医療機関の拡充は進んでいるか。</p> <p>5. 濃厚接触者の指定が限定または抑制されていないか。</p> <p>6. クラスタ発生の可能性があるとところの集中したPCR検査など検査を拡充する計画はあるか。</p> <p>7. ワクチン接種の予約ができなかった人への対応はどうなるのか。</p> <p>8. 集団接種にも個別接種にも来られない人へ積極的に接種できる体制はあるのか。</p> <p>9. 希望する全ての人がワクチン接種を終了するのはいつ頃になるか。</p> <p>10. 県の時短協力金のような支援を萩市でも考えているか。</p>		
2. 子どもの新型コロナ感染症対策	<p>1. 感染症対策の必要性を子どもが理解できるように指導されているか。</p> <p>2. 子どもへの感染が急増するなか、学校では、どのような対策を行っているのか。以前と、対策に変化があるか。</p> <p>3. 教室のソーシャルディスタンスを保つ対策はどうなっているか。</p> <p>4. 運動中のマスク着用は、今、どうなっているか。</p> <p>5. 登下校や帰宅時の注意点は指導されているか。</p> <p>6. 学級閉鎖や休校を実施する基準はあるか。</p> <p>7. 児童クラブ、保育所、幼稚園での対策はどうなっているか。</p>		
3. 土砂災害の防止	<p>1. 県が市と連携して、土砂災害警戒区域の上流にある盛土の調査に着手しているが、萩市の調査結果とその対応はどうなっているか。</p> <p>2. 風力発電システムなどの大規模発電施設の建設により、土砂災害を招く危険がある施設建設の許認可要綱や条例はあるのか。なければ、防災のためにも必要ではないか。</p>		

質問順位	3	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 総合事務所管内の高齢者生活支援について	<p>1. 旧町村地域の高齢化率は軒並み50%台中盤となっています。社会福祉協議会や民間福祉事業の支援が、それら地域に暮らす高齢者には欠かせません。独居・老々介護など毎日の暮らし、買い物・通院を始めとした移動を必要とする事柄だけでなく、宅内での暮らしにも多様な支援が求められています。</p> <p>一方で、支援する側の人的資源にも限りがあります。引き続きの課題である旧町村地域の高齢者の生活支援について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 地区社会福祉協議会と行政の情報共有や支援の連携を補強した、お年寄りがより安心できる行政サービスはこれからの時代に益々求められると想定されます。そこで、各総合事務所に、高齢者生活支援を担当する課の設置や人員の配置は考えられませんか。</p> <p>現在の各総合事務所には、地域振興部門・市民窓口部門・産業振興部門の3つがあります。それらの中に、高齢者福祉の申請に関することというものがありますが、生活支援にあたるものがないように見受けられます。むつみ地域では、買い物代行などの活動を住民共助として市と社会福祉協議会と連携して実施している例もあります。また、自助・共助・公助という順番も聞かれます。</p> <p>しかし、医療・福祉・教育は公助に頼ることができるのが、住民として安心できる自治体運営ではないでしょうか。</p> <p>(2) まぁーるバスの新ルート案が決定し、実証実験を控えている段階と報道で仄聞しています。そこで、各総合事務所管内で運行されているぐるっとバスを、まぁーるバスのダイヤに合わせて運行することで交通結節点を作ることは考えられないでしょうか。また、デマンド方式、ドアトゥドア方式で利用できる日や時間を増やし、バス停までの移動が困難な住民の支援とできないでしょうか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>2. 公共施設であるサンライフ萩土原グラウンドの付帯設備の維持管理について</p>	<p>1. 平成27年に作成された「萩市公共施設等総合計画」に基づき、萩市全域の公共施設等の維持管理・更新等が検討計画および実施されているところです。</p> <p>萩市公共施設の一つでありますサンライフ萩土原グラウンドについて、市民団体から「要請書」が提出されているとのことです。当該要請について、以下お尋ねします。</p> <p>(1) 当該「要請書」を市長はご覧になり、一日市長室での対応に倣って現場確認等を行われたのでしょうか。</p> <p>(2) 「萩市公共施設等総合計画」に基づく「公共施設等有効活用検討委員会」では、現在までのところ当該「要請書」のような市民要望をどのように取り扱われていますか。過去に、当委員会で取り扱われた件数と回答状況についての実績をお尋ねします。</p> <p>(3) 当該「要請書」にある要請内容について、迅速な対応が求められると考えますが、対応はいかがされますか。</p>
<p>3. 阿武風力発電事業（仮）に係る萩市内の事業計画用地について</p>	<p>1. 資源エネルギー庁HPによると、紫福地区に事業認定されている民間所有の土地がありますが、市として確認していますか。確認している場合、どのような設備を造るかを確認していますか。</p> <p>2. 風力発電機からの送電線と鉄塔や変電施設が必要と想定されます。送電・変電施設を設置する土地に、萩市の土地は含まれていますか。含まれる場合は、その旨事業者から市への説明はありましたか。</p> <p>3. 送電・変電施設の設置には、地上権や地役権の設定契約が必要と想定されますが、事業者からの提案を受けていますか。</p> <p>4. これら送電・変電施設の計画地が事業想定区域から外れているのは何故ですか。</p>

質問順位	4	質問者	美原喜大議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の完成した残土処理場の点検・対応について	<p>1. 萩市における完成した残土処理場は幾つあるか。(地元へ引き渡した施設を含む)</p> <p>2. 完成後の点検の状況はどうか。(地元へ引き渡した施設を含む)</p> <p>3. 危険な残土処理場はないか。(地元へ引き渡した施設を含む)</p> <p>4. 熱海の例があるが、点検と管理を適正に行う必要があると思えるが、如何に考えているか。(地元へ引き渡したとしても、危険となっている施設は指導又は造成の責任上点検・対応が必要ではないか。)</p>		
2. 定住対策について	<p>1. 農業における法人化から10年が過ぎようとしている。そして、高齢化、後継者不足で法人組織の危機となっている。ここ5年が過渡期となる。法人の雇用については、農の雇用事業や定着給付金事業等があり、年齢も64歳までが該当するというように、改善がされつつある。</p> <p>そこで、</p> <p>(1) この5年間を重点雇用期間として、法人組織の雇用の充実・促進を図る考え(雇用しやすいように、助成制度を整備する)は無いか。(具体的な案としては、農の雇用事業の助成金額を月15万円に増額し、3年間の定着給付金事業も同様の金額とし、その後、3年間で現制度の漸減とする等)</p> <p>(2) 第1次産業は働く場所はありますが、低所得により若い従事者がいない状況を打破するための施策を、萩市の定住対策として考えませんか。(第1次産業へ重点的定住を)</p>		
3. 江崎簡水の水道水の塩分混入について	<p>1. この事件の経緯を説明してください。</p> <p>2. 原因は何ですか。</p> <p>3. 今後の対応をどう考えていますか。</p>		

質問順位	5	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 県道拡幅が進む松本地区にガードレールの設置を	<p>1. 現在、松本地区において県道萩篠生線の拡幅工事が進んでいる。については、拡幅後の道路にガードレールが設置されるかをお訊ねする。</p> <p>千葉県八街市における飲酒運転による児童死傷事故は記憶に新しいところである。二度とあのような事故を起こしてはならない。</p> <p>松本地区における県道のガードレールは、これまで椿東小学校の裏門まわりの一部のみの設置にとどまり、予てから通学時の危険性が指摘されてきた。設置される計画がなければ、設置される様に県に要望して欲しい。</p> <p>また、椿東小学校のみならず、市内小中学校において通学時の安心・安全が担保される状況になっているか、お訊ねする。</p>		
2. 市民病院の赤字体質は予見できたか	<p>1. 萩市民病院の経営状況について、お訊ねする。</p> <p>萩市民病院は、平成12年4月に開設・設置された公立病院であり、開設後丸20年が経過したところである。</p> <p>令和3年3月期の決算では、医業収益は初めて20億円を下回る約19億6千万円で、医業損失は5億円弱となっている。これに一般会計等から約5億4千万円を補てんし、最終赤字を6千9百万円にとどめている状況で、繰越損失は約9億7千万円と累積過大となっている。そこでお訊ねする。</p> <p>昨年度はコロナの受診控え等があったと推測されるが、赤字体質は変わっていない。その主な要因は何であると考えているか。</p> <p>次に、平成12年4月の病院開設時において、このような状況を予見できたか。また、開設時の病院の総資産はいくらであったか。</p> <p>次に、医師確保の状況について訊ねる。現在、統合協議が進められている都志見病院よりも突出して若い医師の確保ができています。この要因を何と考えているか。</p> <p>最後に、病院統合を行わず、これまで同様に市民病院が単独で事業運営をしていく場合は、赤字幅の縮小が喫緊の課題である。その場合、どのような経営改善を考えているか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 学校現場における新型コロナウイルスの感染対応は十分か</p>	<p>1. 新型コロナウイルスの第5波が襲来し、デルタ株が全国で猛威を振るっている。今回の特徴は、若年層の感染拡大が顕著である。新学期が始まり、小中学校の学校現場における感染拡大が懸念されている。</p> <p>ついては、下記の点について、伺います。</p> <p>まずは、児童・生徒に感染拡大が見られる場合、学級閉鎖・学校閉鎖を行う基準を決めているか。</p> <p>次に、学級閉鎖・学校閉鎖となった場合、オンライン授業に速やかに移行できる体制は整っているか。</p> <p>仮に児童・生徒が感染した場合は、感染者がいじめの対象にならない様な、対応ができていますか。</p> <p>また、修学旅行は実施するのか。実施するのであれば、どのような形で実施するのか。感染拡大で延期・中止とする場合のキャンセル料は誰の負担になるのか。</p> <p>最後に、ワクチン接種について、どのような考えを持っているのか。学校現場で集団接種を検討するのか、それとも任意接種であることから、その判断は個人に任せるのか。高校、大学受験を控える子どもたちに優先枠を設ける考えはあるか。</p>

質問順位	6	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 学校教育・社会教育・生涯学習の連携の重要性や教育委員会の独立性についてどう考えているか	<p>1. 野村元市長時代に国の制度が変わり、萩市でも本来教育委員会が担う事務の内、多くの部分を市長部局が代わりに担うことになりました。</p> <p>この様にいびつな状況は、藤道前市長時代に一部改善され、現在に至っています。</p> <p>私は、教育委員会が市長部局からの独立性をしっかりと確保した上で、学校教育・社会教育・生涯学習を一体的かつ総合的に取り組んで行く必要があると考えています。</p> <p>そこで、教育委員会の市長部局からの独立性や学校教育・社会教育・生涯学習の連携についてどのように考えているかお尋ねします。</p>		
2. 選挙公約は本当に実現できるのか	<p>1. 市長は先の市長選挙で、多くの公約を掲げていますが、その中には、萩市単独では実現できないものが含まれています。</p> <p>また、多くの財政支出を伴うものや継続性が必要な公約もあり、その実現は、かなり厳しいのではないかと考えます。</p> <p>そこで、自身が市長就任前に掲げた公約が現在でも本当に実現できると考えているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、出来ると主張するのであれば、財源手当ての方法や事業効果等について、具体的にお示しください。</p>		

質問順位	7	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 道路について	<p>1. 交通、流通の大動脈として今後の建設の進捗が萩市民として多いに期待されている山陰自動車道ですが、先の萩市議会定例会の議場において阿武川に架かる橋について議論がされたところですが、その後の県議会においてもこのことについて、新たな意見要望を出すことによって今後の建設工事に対して遅延が発生するといった意見が出されたところと新聞報道により知りました。建設の現地としては、道路建設にあたり今後も色々な意見や要望が出されることと推察されます。この時点で意見要望を地元として出すことにより、今後の建設計画に遅れが発生するものなのか、市長は工事施工者ではありませんが、期成同盟会会長としての市長の見解をお聞きします。また、今後、要望、意見がある場合、どのような手段、方法で国、県に伝えていくべきなのかお聞きします。なお、今回の質問は二重橋の是非を質問するものではありません。</p> <p>2. 萩市の市道は総延長1千キロを超え、生活道として市民に利用されているところですが、その後の周辺の興廃により、交通量にも変化が見られるところもあり、周辺住民の要望により、道路の拡幅や、安全対策のため改良工事の要望もあろうかと思えます。その際の新たな用地取得を市が行う場合、寄付、買収と対応の違いがあるようですが、市の判断基準なり方針があるのかお聞きします。</p>		
2. 市内林業の将来展望について	<p>1. 現在、アメリカ、中国の木材需要の増加により、建築材料として7割弱を輸入木材に依存している我が国において、木材価格が高騰しているとのことですが、人手不足、後継者の不在など、まだまだ林業を取り巻く環境は厳しいといえます。</p> <p>このような中、国からの森林環境贈与税の活用など、林業の振興に対して今後どのような将来への事業計画があるのか、お聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>3. 市事業の検証と財政状況の把握について</p>	<p>1. 9月定例会は決算議会でもあり、歳入歳出はもとより事業の成果も問われますが、単年度ごとの評価となります。現在はコロナ感染症対策により中断をしていると思いますが、「行財政改革推進本部」による施策の検証が市の内部会議により実施をされていたと記憶しています。財源の決して豊かではない当市において、事業の裏付けとなる財源については常に関心をもって考えるべきだと思います。行財政改革について同様の取り組みを実施される考えがあるのか、お聞きします。</p> <p>また、短期ではなく、将来に渡る事業予想、財政計画を立てながら事業実施の決定を判断していくべきと考えますが、市長の考えはどうでしょうか、お聞きいたします。</p>

質問順位	8	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 障がい者福祉について	1. 障がい者福祉における情報提供について 2. 相談支援専門員の役割について 3. 障がい福祉サービスから介護保険に切り替わる際の現状と課題は		
2. 新型コロナウイルス感染拡大への対応について	1. 若者の重症者増加に対する、12歳以上のコロナワクチン接種の現状と課題は 2. 妊婦やその配偶者のワクチン接種体制は 3. 軽症・中等症患者に対する治療体制は 4. 濃厚接触者・自宅療養者に対する支援は		
3. 地域気象防災支援のための気象庁等による取り組みについて	1. 本市と地元気象台との連携状況について 2. 気象災害情報の専門家の育成について、研修会や訓練について本市の参加状況は 3. 本市における気象防災アドバイザーの活用について		

質問順位	9	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 耕作放棄地等への太陽光パネル設置に伴う転用について	1. 萩市管内の耕作放棄地等の面積について 2. ここ1、2年の萩市管内の耕作放棄地等への太陽光パネル設置に関する会社等の相談件数について 3. 農地に関する農地転用の条件及び審査について		
2. 建設残土の盛り土の処理対応について	1. 萩市管内の建設残土の盛り土の処分箇所について 2. 人家に危険が及ぶ、土砂災害警戒区域等の上流部にある建設残土の盛り土の処分箇所について 3. 山口県及び萩市の建設残土の盛り土条例について		

質問順位	10	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 8月の長雨による農作物被害について	<p>1. 本年の8月は二度目の梅雨とも言えるほど長く、降水量も例年の8月をはるかに上回る雨が降り続けました。むつみ地域の千石台では、大根の直接被害額だけで2,400万円にのぼるとの推計もあります。他の地域・集落での被害についても、大変心配です。</p> <p>萩市内の農作物被害はどのような状況ですか。また、その被害に対する支援策はお考えですか。お考えであれば、どのような内容ですか。</p>		
2. 農林水産業への支援策について	<p>1. 市長は選挙公約で「農林水産業の振興支援」をうたわれていました。6月定例会でも同様の説明をされていますが、私の目にはその動きが見えません。</p> <p>市単独事業の「儲かる農業経営体モデル確立支援事業」の直近5年の当初予算額は、平成28年～30年が600万円、令和に入り元年が700万円、令和2年度と本年度は850万円と、徐々に増額傾向でした。</p> <p>田中市長の就任後、農業関係で増額された市の事業、または新設された市長独自の事業はありますか。また、林業・水産業についても同様にお尋ねします。</p>		
3. 人・農地プランの実質化について	<p>1. 6月定例会の一般質問でその状況についてお尋ねしたところ、萩市では「33プラン、4,222haで農用地の74%が実質化されている」との説明がありました。本当に実質化されているのか、再度お尋ねします。</p> <p>農林水産省が実施した市町村へのアンケートによると、「離農などで農地の出し手が増えたときに地域の担い手が受けられるか」を訪ねた結果、「多くを受けられる」との回答は僅か15%でした。「少しなら受けられる」が62%、「あまり受けられない」が23%で、この合計が85%を占める状況です。「あまり受けられない」と回答した市町村にその理由を複数回答で選んでもらったところ、「担い手の経営可能な範囲を超える」が74%で最も多く、次いで「担い手に規模拡大の意向がない」が34%という結果でした。</p>		

	<p>同じ質問を担い手にもした結果、「多くを受けられる」との回答は34%に留まり、「少しなら受けられる」が41%、「あまり受けられない」が25%で計66%となり、同様の傾向です。</p> <p>萩市はこのアンケートに回答されていますか。回答されていれば、どのように回答されましたか。このアンケート結果を聞いて、どのように思われましたか。</p>
<p>4. 萩市の中山間地域等直接支払制度の現状について</p>	<p>1. 令和3年7月17日付の某全国紙朝刊のトップ記事で、中山間地域等直接支払制度に関連し、訴訟にまで至ったトラブルについて掲載がありました。そこで萩市における本制度の現状についてお尋ねします。</p> <p>中山間地域等直接支払制度の申請書類に不備があった場合、申請当初と実績報告のチェックはどのようにされていますか。また、担当職員は何人で対応されていますか。</p> <p>現在、萩市の本制度を利用されている集落で、問題が生じている地域はありますか。</p> <p>制度改正や通知書が届いた場合など、本制度利用集落への説明会は実施されていますか。</p> <p>確定申告との関係について、萩市としてはどのような指導をされていますか。また、税務署や市課税課との連携はどのように行われていますか。この連携について、本制度構成員への周知についてはどのように行われていますか。</p>
<p>5. 8月27日発行の地方紙に掲載された記事について</p>	<p>1. 記事によると、8月20日、県漁協玉江浦支店で行われた河村建夫代議士のミニ集会において、市長より「来年度から誕生祝い金の拡充を行う」旨の発言があったとされています。その内容は、6月定例会で可決した出生1人につき10万円の市内共通商品券を支給するのに次いで、2子目は20万円、3子目は50万円、4子目以降は100万円を補助するというものであったとされています。</p> <p>この記事は事実ですか。事実であれば、予算はどの程度になりますか。また、これによりどの程度の効果を見込んでいますか。</p>

質問順位	11	質問者	森田宗和議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 誕生祝金事業の拡充について	<p>1. 市長は、玉江で行われた河村建夫衆議院議員のミニ集会において、1子目10万円、2子目20万円、3子目50万円、4子目100万円と、私が主張していた以上の拡充策を検討しているとお聞きしました。大変うれしく思っております。しかし、来年度から給食費無料化、9月定例会では、市民1人当たり1万円の給付等の予算審議も始まります。本年度中にまとめる中核病院もあり、財政は大丈夫か、財政破綻するのでは等、市民は心配しています。</p> <p>また、自主財源の根幹である市税は、令和元年度と比べ2年度では、1億2,448万円減少しています。萩市は、どうしても地方交付税に頼らなくてはいけないのが現状です。交付税確保の面でも人口増を達成しなければなりません。市長の覚悟をお聞きします。</p>		
2. パラリンピックと、共生社会実現について	<p>1. 去る、9月5日にパラリンピックが終了しました。開会式は、オリンピックより感動したという意見が世界から多く寄せられました。政府は、オリンピックは無観客、パラリンピックは児童、生徒の観戦を認めました。私は、なぜ無観客にしないのか疑問に思いました。しかし、パラリンピックを見ますと政府の思いが理解できました。身体障がい者、知的障がい者、視聴覚障がい者の競技に対する姿、努力、人、家族との絆等、どれを取っても、涙と感動の嵐です。これこそが子供たちに見て欲しかったパラリンピックであったと思います。萩市教育委員会は、この機会を逃さず、道徳の時間等で、パラリンピックのビデオ観戦、また、選手紹介を通じて、共生社会、多様性の価値、差別、いじめ、生きる力等を、学校教育に組み入れるべきと思いますが、萩市教育委員会にお聞きします。</p> <p>また、萩市では、障がい者スポーツの発展の為に、どのような支援をされていますか。お聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
3. 小中学生の通学路について	<p>1. 今年6月28日に、八街市で発生しました児童5人死傷者交通事故は、非常に痛ましい事故でした。PTAでは長年この道路の危険性、ガードレール、歩道の設置、道路の拡幅等の要望を訴えて来たそうです。原因は、運転手の飲酒運転ですが、ガードレールがあれば、縁石でもあれば等、保護者の思いを考えれば、悔やみきれないと思いました。</p> <p>さて、萩市を見ますと、私が24年前、萩市小中学校PTA連合会長をしていた頃から要望をしていましたが、今もって、改善されていない危険道路があります。維新ロード交差点から50メートル位、川上方面に入った主要地方道萩川上線の上野地区です。そこは、用水路橋があり、登りカーブの、前が見えにくい狭い道路です。朝夕は、会社も多くあり、通勤車両も多く非常に危険な道路です。</p> <p>また、国道191号線と、主要地方道萩川上線の無田ヶ原口の交差点ですが、踏切前の、歩行者用縁石が急に狭くなり通行しにくく、踏切に出るような感覚になり危険を感じます。そして、萩念法寺を過ぎた交差点が点線横断歩道であり、正規の横断歩道にと、前から要望していると聞いています。</p> <p>次に、萩市民館から自動車学校に抜ける江向の市道ですが、朝は、車両通行止めされているので、大丈夫だと思えますが、帰りは車両も通行します。路側帯線が書かれていますが、消えかかっている所もあります。子供たちはふざけあたりして、たまに車道に出てしまいます。学校で注意されていると思いますが、あり得ます。道路には、歩行者用道路と書かれていますが、これも消えかけています。私は、スクールゾーン、スピードを落とせ！等、強いメッセージ、色彩化が必要だと思いました。八街市の交通事故の後、菅総理大臣は「全国の通学路を検証、点検をする。」と言われました。萩市小中学校の、子供達の安心安全のため、萩市及び教育委員会は、国、県とともに、全ての通学路の検証、改善を図るべきと思いますが、市長の見解をお聞きします。</p>

質問項目	質問事項及び要旨
4. 飲酒運転について	<p>1. 八街市の交通事件は、白ナンバートラックの飲酒運転が主な原因です。勤務先の会社にも責任が問われています。白ナンバートラック所有の、民間企業もこのような不幸な事故を防ぐためにも、朝夕の飲酒検査をすべきと思います。萩市も警察とともに要請すべきと思いますが、市長の見解をお聞きします。</p>
5. コロナ禍後の市の対応について	<p>1. 年末年始の対応についてお聞きします。年末には、国民のほとんどの方のワクチン接種が終了すると思います。しかしコロナ0とはいきません。私たちはコロナと付き合っていくしかないと思います。年末年始には多くの帰省客、観光客が来られると思います。感染が拡大するのではと、心配しています。そこで、市外から来られる方に道の駅等でPCR検査をしていただければ、いかがでしょうか。萩でクラスターを起こさせないために、市民、帰省客、観光客の、安心安全の確保、経済活性のために是非必要ではないでしょうか。</p> <p>市長の見解をお聞きします。</p>
6. イージス・アショア配備計画撤回に関する説明会について	<p>1. 6月定例会において、萩市は、イージス・アショア配備計画撤回に関する説明会を、引き続き防衛省に求めていくとの答弁がありました。当時の河野防衛大臣が、NHKを通じて撤回の説明をされ、「国民にお詫びする。」と言われました。また、山口県に来られ各首長に説明、陳謝されたと記憶しております。私は、それで十分だと思っています。市民の大半はそのように理解されていると思います。ただ、一番ご迷惑をかけた、むつみ地域の方々には、防衛省の方が、現地に赴き説明、陳謝すべきと思いますが、市長の見解をお聞きします。</p>

質問順位	1 2	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市のコロナ対策について		1. デルタ株の特性に合わせた検査体制の拡充をすべき時ではないか。希望する人にはいつでもだれでも何度でも可能なPCR検査体制をつくるべきではないか。 2. 学校や保育園など希望する子どもへ一斉集中PCR検査を実施する考えはないか。 3. 市内で初めてのクラスターが発生しているが、一気に感染者が増えた場合の受け入れ態勢の準備はできているか。 4. 希望する人へのワクチン接種の見通しはどうか。12歳以下はどういう方針で臨むのか。ブースター接種は考えられるのか。 5. 経済対策をどう考えるのか。	
2. 地域おこし協力隊の在り方について		1. 地域おこし協力隊員の受け入れ態勢はどのように構築されているか。ミッションに応じた受け入れ側の部署、関係団体及び地域の協議と合意は十分に準備できているのか。 2. 隊員就任後のサポート体制の構築はどうなっているか。 3. ミスマッチが生じた場合の事後措置はどのように行われるのか。	
3. 崖を転げ落ち始めている農業農村の再生について		1. 市長は、農業・農村の実態を見て、何とかしなければいけないと言われていますが、どんな手法をもって、再生を実現しようと考えていますか。	
4. 「ブラック校則」の状況と方針について		1. ブラック校則について、教育長はどのように考えるのか。 2. 市内小中学校に「ブラック校則」はあるか。	

質問順位	13	質問者	松浦 誠 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 飲酒運転根絶に向けた対策について	1. 通園・通学路の点検等について 2. 学校等における教育の実施について		
2. 漁港における海洋ゴミの回収について	1. 漁港における海洋ゴミの現状と集積場所、またはコンテナの設置について		
3. 聴覚障がい者等のための電話リレーサービスについて	1. 市としての対応について 2. 周知について		

質問順位	14	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 行財政改革を再開すべきではないか	<p>1. 2019年(平成31年)4月に萩市行財政改革推進基本方針が策定、同年9月に萩市行財政改革実施計画が出来ました。背景としては、一般財源の増加が見込めず、自主財源が厳しい本市では持続可能な市政運営のためでした。しかし、翌年の2020年5月には新型コロナウイルス感染症対策のため人的資源や財源を集中する、との発表で凍結されています。</p> <p>今後、コロナ対策等にも財源を取り崩して施策を展開するならば、早期再開が必要だと考えますが、市長の見解をお聞きします。</p> <p>また、初期投資によって長期間の経費削減される事例としてLED化や主に大規模校の学校空調に使用されるGHPなど建物にかかるエネルギーの維持管理費があります。省エネや発電効率などを見直し、既存の公共施設への新たな導入ができないか比較検討しませんか。</p>		
2. 新型コロナウイルスへの経済対策に取りこぼしのない支援を	<p>1. 新型コロナウイルスの全国的な感染拡大、そして、山口県からは今月12日までデルタ株感染拡大防止集中対策が実施されています。</p> <p>感染拡大防止と希望者へのワクチン接種が必要かと思いますが、コロナ対策にはさまざまな意見があります。</p> <p>特定業種の特定時間を規制することが感染抑止になるのか、また、観光や宿泊も需要喚起する施策の中止が相次いでいます。萩市による中小企業等緊急サポート給付金には一次産業の事業者は中小企業ではない、とのことから対象から外れています。改めて支援策の制度設計見直しが必要ではないかお尋ねします。</p> <p>感染拡大による学校休校の可能性もあります。過去の一般質問で2週間以上の臨時休校になった場合、児童クラブでの給食提供を検討いただきました。児童クラブに限らず休校時に子どもたちに食事提供する方法や考えはありませんか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. 新たに始まった中核病院協議会の進捗について</p>	<p>1. これまでの中核病院協議会では、大きな関心事である費用（イニシャルコスト）が示されて大きく3パターンの試算結果でした。</p> <p>萩市民病院へ集約する場合、令和10年以降の機能集約段階までに総事業費97億円が見込まれます。そのうち、補助金や地方債を活用して一般会計への実質負担は21.7億円という内容でしたが、ランニングコストは発表されていません。早期にランニングコストを試算して協議会の委員にお示しする必要があると考えます。</p> <p>また、第1回協議会から委員より指摘のあった都志見病院の負債が事業譲渡額に上乗せされるのではないかと、この指摘に対して事業譲渡（概算）額として10億～20億が発表されました。かなりの幅がありますが改めて概算結果の根拠、上限・下限の積算をどうしたか、今後予定されている中核病院協議会についてもお聞きします。</p>
<p>4. 大型特殊自動車免許（農耕車限定）のアンケートを踏まえた今後の取得支援について</p>	<p>1. 前回、大型特殊自動車免許（農耕車限定）の取得希望者が多く、受講できていない状況をお伝えしました。その後、農業従事者へアンケートを実施いただきました。</p> <p>農業など一次産業への従事者は高齢化、担い手不足です。アンケート結果を踏まえて今後の支援にどう取り組みますか。</p>